資料　文１

全員協議会資料
令和８年(2026)１０月３０日
市民文化部文化スポーツ課

第３８回出雲全日本大学選抜駅伝競走の結果について

１　開　催　日　令和８年(2026)１０月１２日（月・祝）「スポーツの日」

２　コ　ー　ス　［区間・距離］　全６区間　４５．１キロメートル
［ス　タ　ー　ト］　出雲大社正面鳥居前（勢溜）　９時１０分スタート
［フィニッシュ］　出雲ドーム前

３　テレビ放送　フジテレビ系列にて全国生中継（地元はＴＳＫさんいん中央テレビ）
９時～１１時３０分
視聴率　［フジＴＶ］　４．７％（前回(Ｒ７)　６．３％）
［Ｔ　Ｓ　Ｋ］　１０．０％（前回(Ｒ７)１１．５％）

４　出場チーム数　２２チーム

５　大会結果

⑴　総合成績

順位	チーム名	記録	備考
１位	早稲田大学	２時間５分５６秒	大会新記録
２位	國學院大學	２時間６分５４秒	大会新記録
３位	アイビーリーグ選抜	２時間７分２４秒	大会新記録

⑵　区間賞

順位	選手名	チーム名	記録	備考
１区	鈴木　大翔	駒澤大学	２２分４２秒	
２区	本田　桜二郎	早稲田大学	１５分４２秒	
３区	ｼｬﾄﾞﾗｯｸ ｷｯﾌﾟｹﾒｲ	日本大学	２２分５６秒	区間新記録
４区	新妻　遼己	早稲田大学	１７分１０秒	区間新記録
５区	山口　竣平	早稲田大学	１７分３５秒	区間新記録
６区	工藤　慎作	早稲田大学	２９分００秒	

６　大会の概況

⑴　早稲田大学が、大会新記録で１６年ぶり３度目の優勝を飾った。
⑵　今大会から選手・スタッフの熱中症対策として、スタート時刻を９時１０分に変更した。
⑶　７チームが従来の大会新記録を更新し、さらに１０名が区間新記録を樹立する結果となった。午前中開催に変更したことで、良好な環境の中でレースが行われ、結果に好影響を与えたものと考える。

⑷　参加チームの熱いレース、スタート・フィニッシュ付近における学生応援団の応援、沿道での多くの方の声援を全国に届けることができた。

7　アイビーリーグ選抜チームについて

国際交流を目的として、第１０回大会から招致しているアイビーリーグ選抜チームは、全選手の力走により過去最高の総合３位入賞を果たした。

また、出雲高校２年生と交流授業を行い、互いの文化について英語で交流を深めたほか、書道部の活動にも参加し、「書道」を体験した。

8　その他

大会公式インスタグラムにおいて、(株）フジテレビジョンや出場チーム（大学）と連携を図り、魅力的な情報の発信に努めたことで、フォロワー数が大幅に拡大した。

（１０月２０日現在フォロワー数　９，４４０人）